



子ども主義の入口③
 子どもの心と身体を
 つくる為に
 あえてお弁当です

園長通信
 しんとこ、子
 11.26.12
 當直 ぽろ

お弁当に込めたい遠藤先生の
 お話から考えることが
 ふくらんできた私でした。
 わりほりのある生活が
 今さらだけれどいいもの?と

お弁当
 入園するまで、あまり
 お弁当を作ることがなかつた
 ので、バッチリでしては、
 実際作ってみると量も少ない
 ので、それほど負担に感じ
 ませんでした。子どもの食べる
 量に合わせられるのも
 いいと思います。

お弁当
 幼稚園から帰ったら
 「お弁当おいしかった」と言
 います。毎朝お弁当を思
 いますが、やっぱりお弁当で良かった
 と思う瞬間です。子どもの体も健康
 だし毎日、私が作る食事です
 といふ。毎日大満足
 文夫ははれと思

前号に続き、遠藤豊吉先生の「話です
 子どもの生活に父リハリがなくなっている
 朝起きる。おはようでもなければ
 おはかすにたどでもない。
 顔を洗わなければまま学校へ行く。
 トロリンとした顔でやそくものだから
 おはようとした顔でやそくものだから
 元気が声かどび出すはずもない。
 学校でカラカラと時間を過ごし、
 疲れて家へ帰ると、
 そして勝手に冷蔵庫をあけ、「
 ニ年前前のお話ですが、今にも当り
 はまりませんか?」
 生活が便利に豊かになり、親が大人が
 手をかけなくてもかける事が、
 「子どもに不自由なおもいそ
 させていません」という事が
 起きてきます。

お弁当
 決意してお弁当を始めた
 子供は喜んでパロリと食べます。
 作りはじめて毎日のことにはな
 全然大変でした。娘のお手紙
 「いつもお弁当をつくってくださ
 と書いてくれます。その度お弁当
 ありがとうございます!!

お弁当
 我が家のお弁当は、
 可愛くないし、年をい
 簡単なもので思いますが、毎日
 完食してきてくれます。ピピカ
 お弁当箱は「ボクは今日元気!
 というメッセージを
 書いています。

お弁当
 我が家のお弁当は、子供用
 としてワザワザつくらない。
 前夜のおかずの残りも、最も多く
 登場する。父親用のミニ400板が
 子供用なので、茶色、物が多
 くなる。あと緑。子供は、文句を言う
 日もありますが、時々、思い切り
 子供らしく食べる。でも
 結局、おむすびが一番
 好きかも

お弁当
 「ママのたまごやきが1番
 好き!!」入園してからずっと同じ
 言葉の14歳。
 子どもが大きくなって私の手から
 離れても、たまごやきを食すると
 このかわいい顔を思い出さず
 いて、子どもは私の顔を
 思い出してくれるかな...

お弁当
 最初は、毎日お弁当...大
 変な?!なんて思っていました
 やってみると大変な事なんて無
 なく、楽しくなって、空でかえ
 くるお弁当箱もとても嬉しいもので
 学期ごとに子どもに入れてくる
 カードに毎回胸があた
 います。

お弁当
 残さず食べる事の大切さを
 教えてあげたいお弁当の幼稚園を
 ました。でもズボラな私にも、遠藤
 の中はおにぎり、ポテト、ウイン
 作ってもお弁当(笑)でも小学生には、
 物も大好きなのは、「ママのお弁当
 食べたい」と思っているお弁当箱
 多い。美味いけれど、お弁当の
 けれど子どもに伝わります。
 お弁当、バッチリ!!

